

質問・回答一覧

回答日：令和4年10月3日

件名：長野県スマートハイランドデータ連携基盤構築業務

公告日：令和4年9月22日

No.	質問日	質問内容	回答
1	令和4年9月26日	<p>入札資格について質問です。</p> <p>参加要件具備説明書類総括書においては、記載上の注意事項の3で、プロポーザル参加における必須要件ではなく、空欄でも問題がない旨の記載があります。方、9/29までに提出する誓約書の4に、等級がAに区分されている者の記載があります。弊社は、現在、入札資格審査の結果待ちの状況でして、本日、審査部門に問合せしたところ、結果は来週中になる旨の回答をいただきました。今回の参加申請書提出期限間までに、資格審査の結果が出ない場合は、プロポーザルに参加できないという理解になりますでしょうか。お手数おかけしますが、ご教示いただければ幸いです。よろしく申し上げます。</p>	<p>製造の請負、物件の買入れその他の契約に係る公募型プロポーザル方式実施要領（平成28年3月31日27契検第160号（最終改正：令和3年3月31日2契検第133号））第7により、競争入札参加資格告示に基づく入札参加資格に関する事項については、参加申込書の提出期限から契約の締結までの間に満たしていなければなりません。よって、今回は、参加申込書提出期限である令和4年9月29日までに、公告で定めた入札参加資格要件を満たしている必要があります。</p>
2	令和4年9月28日	<p>【対象内容】 業務仕様書（案）2ページ： 「4 業務内容【機能要件】（6）外部データ連携」 【内容】 県、市町村、事業者等が持つデータについて、少なくとも概ね10サイト以上を想定と記載されております。どのようなI/Fを想定すればいいか検討のため、その具体的な10サイト先の名称、URL等をご教示ください。</p>	<p>委託業務におけるクローリング実装に関し、クローリングを実施するデータは、県内市町村等がWebサイト上で公開している雨量・水位等のデータを想定しています。接続先のURL等については、仕様書に記載のクローリング接続先サイト数（少なくとも概ね10サイト以上）を踏まえ、県と市町村が協議のうえ、決定する予定であり、現時点では未定です。</p>
3	令和4年9月28日	<p>【対象内容】 業務仕様書（案）1ページ： 「2 事業概要（1）・（2）」 【内容】 令和5年3月10日までにデータ連携基盤を構築し、令和5年4月1日から運用を開始するものとあります。データ連携基盤を構築する点については、開発業務が完了している状態であって、実証実験等を含まないものという理解でよろしいでしょうか。また、令和5年4月1日からの運用開始という点については、「外部開発のサービス」が系統的に提供できている状態という理解でよろしいでしょうか。あわせて、運用開始にあたって、利用事業者の申込方法やその許諾等、本事業で運用設計は含まれないという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>「実証実験等」の定義が不明な中での回答となりますが、令和5年3月10日までに、仕様を満たしエラーなく動作することを確認する観点に必要なテスト等は実施していただく必要があります。</p> <p>データ連携基盤のアウトプットとしての外部開発のサービスとの連携に関しては、運用開始までにデータを受け渡すAPIが構築されている必要があります。</p> <p>データ連携基盤の利用を希望する事業者の申込方法やその許諾等に係るルールは、県で検討・策定しますので、委託事業には含まれません。</p>
4	令和4年9月28日	<p>【対象内容】 【別紙2】クラウド基盤ファシリティ要件 No. 23 セキュリティ対策 認定資格 【内容】 ISO/IEC27001適合性評価制度の認定を受けていること、プライバシーマーク制度の認証によりプライバシーマーク使用許諾を受けていることとあります。本資格は提供するクラウドサービス基盤側で資格を有していれば、問題ないという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>【別紙2】クラウド基盤ファシリティ要件は、クラウド基盤に関して課している要件です。クラウド基盤側で資格を有するとともに、構築する事業者においても資格を有していると更に望ましいです。</p>

No.	質問日	質問内容	回答
5	令和4年9月28日	<p>【対象内容】 業務仕様書（案）2ページ： 「4 業務内容【機能要件】（6）外部データ連携」</p> <p>【内容】 クローリングまたはAPI（特にREST及びSOAP）のより、データを取得できるようにすることとあります。この点については、APIでデータ取得できることを前提とし、RESTやSOAPに限らず、それらを選択肢としながらも長野県との協議の上、その方式は決定するという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>データを取得するAPIに関しては、特にREST方式やSOAP方式でのデータ取得が可能な機能を有する必要がありますが、その他の方式でのAPIでのデータ取得も可能な機能を有することを妨げるものではありません。より良い方法があれば提示いただければ幸いです。最終的には、構築時において協議の上決定したいと思います。</p>
6	令和4年9月28日	<p>【対象内容】 業務仕様書（案）2ページ： 「4 業務内容【機能要件】（6）外部データ連携」</p> <p>【内容】 納期を踏まえ、システムで対応する機能、運用で対応する機能が混在する可能性があると考えます。その内容については、企画提案書の内容で記載し、提案させていただくという考え方でよろしいでしょうか。</p>	<p>その考え方で結構です。</p>
7	令和4年9月28日	<p>【対象内容】 公募型プロポーザル方式実施公告 「7 企画提案書の作成・提出」</p> <p>【内容】 企画提案書については、様式に記載の項目を踏まえパワーポイントによる作成、提出を予定しています。その際、ページ数、フォントサイズ等の制限事項はございますでしょうか。</p>	<p>企画提案書のページ数、体裁、フォントサイズ等について、指定や制限はありません。</p>
8	令和4年9月28日	<p>【対象内容】 業務仕様書（案）：その他</p> <p>【内容】 仕様書に記載はないのですが、運用レベルや可用性については、今回事業では要件としないという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>可用性が高いことが好ましいのはもちろんですが、本事業において、稼働率の具体数値等の要件は課していません。</p>
9	令和4年9月28日	<p>【対象内容】 業務仕様書（案） 「6 留意事項（15）（16）」</p> <p>【内容】 セキュリティインシデントの発生に備えた内容の記載があります。本件は、今回の契約期間中において留意する内容であり、令和5年度以降、継続して今回の採択事業者が負う内容を含んではないと言ふことでよろしいでしょうか。</p>	<p>次年度の運用保守については本契約に含まれませんが、インシデントが成果品の不備に起因する場合、契約書（案）第14条に基づき、成果品の修補または代品の納入を行っていただく必要があります。</p>
10	令和4年9月28日	<p>【対象内容】 その他</p> <p>【内容】 弊社より再委託する場合、その再委託する際の金額について制限事項はありますでしょうか。また、再委託先の事業者について、制限事項等、留意すべき内容がありましたらご教示ください。</p>	<p>再委託に関する留意事項については、仕様書（案）第7項及び契約書（案）第16条をご覧ください。</p>
11	令和4年9月30日	<p>【対象内容】 業務仕様書（案）4ページ： 「5 成果品 納入形式」</p> <p>【内容】 「ただし、検査完了時のシステムのバックアップを電磁的記録媒体により別途提出すること。」とあります。本件は、電磁的記録媒体に限らず、他の方法でもシステムリカバリができれば問題ないという理解で問題ありませんでしょうか。</p>	<p>システムのバックアップは、県に別途提出する必要があります。 電磁的記録媒体に拠らない方法で県に提出したい場合には、別途御相談ください。</p>

No.	質問日	質問内容	回答
12	令和4年9月30日	<p>【対象内容】 業務仕様書（案）5ページ： 「6 留意事項（18）」</p> <p>【内容】 実質、スケジュール的には11月～3/10の期間と推察する中で、開発しながら実施スケジュール、実施プログラムの検討、実行と、タイトなスケジュールとなることが予想されますが、その実施方法やプログラムの粒度は相談可能という理解でよろしいでしょうか。</p>	そのような理解で結構です。
13	令和4年9月30日	<p>【対象内容】 業務仕様書（案）5ページ： 「6 留意事項（19）」</p> <p>【内容】 前頁の「インシデント対応訓練・演習を1回以上実施」と同様、その実施方法やプログラムの粒度は相談可能という理解でよろしいでしょうか。</p>	そのような理解で結構です。
14	令和4年9月30日	<p>【対象内容】 業務仕様書（案）5ページ： 「6 留意事項（22）」</p> <p>【内容】 「システムの一部を構成するローコードツールに関しては、メーカーが、本県及び受託者からの問合せに迅速かつ的確に対応できる日本語、音声（電話）でのサポート体制を有した製品を選定すること。」とありますが、メールでの受付により、メール受信後、例えば1時間以内に一次回答すると言った運用でもよろしいでしょうか。もしくはLINEによるチャットボット機能の仕組みを使う等、サポート先が人によるオペレーターでなくても問題ありませんでしょうか。</p>	問い合わせの初期対応手法がメールやチャットボットであることは差し支えありませんが、メールやチャットボットでの対応では問い合わせ事由が解決できない場合に、電話かつ日本語で問い合わせを行うことができる窓口（サポート体制）は必要となります。
15	令和4年9月30日	<p>【対象内容】 [別紙1] データ連携基盤 機能要件 14</p> <p>【内容】 データ連携基盤が管理するデータに対し、そのデータの来歴を自動生成しグラフィカルに表示できること。 →定期的に管理データ一覧を出力するイメージでよろしいでしょうか。</p>	単に管理データ一覧を出力するのみならず、グラフィカルに表示できることを求めています。
16	令和4年9月30日	<p>【対象内容】 [別紙1] データ連携基盤 機能要件 24・25</p> <p>【内容】 データ補完 →要件が明確になった後に、別途詳細は協議させていただくという理解でよろしいでしょうか。</p>	機能要件24「リアルタイムデータ等で欠損したデータを補完し、データ品質の向上ができること。」及び機能要件25「取得したデータから不要なデータを除去し、外部連携できること。」は、納品物の機能として満たすことが必要です。
17	令和4年9月30日	<p>【対象内容】 [別紙1] データ連携基盤 機能要件 27</p> <p>【内容】 プロトコル変換：「API（特にREST及びSOAP）によるデータの取得・提供がおこなえること。」 →外部接続先を決定する中で、具体的な方式を協議させていただくという理解でよろしいでしょうか。</p>	9月28日のご質問に対する回答に同じです。下記に再掲します。 データを取得するAPIに関しては、特にREST方式やSOAP方式でのデータ取得が可能な機能を有する必要がありますが、その他の方式でのAPIでのデータ取得も可能な機能を有することを妨げるものではありません。より良い方法があれば提示いただければ幸いです。最終的には、構築時において協議の上決定したいと思います。